

Dear Chiharu

チハルさん、こんにちは！

日記のお返事を拝見して、お腹のすいていたのを思い出し、うどん屋さんに走ったのはここだけの秘密にしておいてください。

甘辛い味付けをこの世にもたらした大先輩には頭の下がる思いだーと言い訳しながら、つめたい肉ぶっかけをいただきました。ひやかけしかり、おうどんってつめたいのがおいしいんですよね。

そろそろ、あたたかいお出汁も恋しくなります。

ずっとおぼえている、漫画やアニメのストーリー。

物語を記憶しているというところが、まさしくチハルイズムのような気がしてなりません。あなたの想像力は、こうして築かれていったのかもしれませんね。

何度も読んで、観て、やがてセリフや細かな背景までおぼえていく。私は絵本が好きな子どもでしたので、絵本の朗読をしながら一人芝居を繰り広げておりました。

おもむろに自室に登場した、部屋の広さに不釣り合いなトランポリンのうえで、距離感のわからない天井にむかって読む幼い私の姿。冷静に考えるとホラーですね。

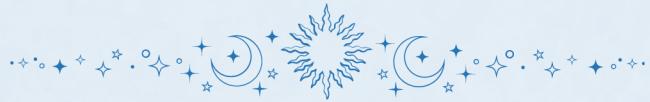
チハルさんは想像力で、私は壁打ち。現在の基盤のような性質はこうしてつくられたのでしょうか。

manami * chiharu
交換日記一宿一

いまも、好きなもの。

2024.12.4





「子どもの頃や学生時代から変わらず好きなもの」。残念ながら重度の飽き性である私には、「モノ」で探すことは難しい気がしております。けれどもあえてここは、物理的なものでいきたいー

ありました。図ですね。きれいなイラストも良いのですが、主目的が「図」であるものが、幼い頃からなぜか好きなのです。地図も、数学の展開図とかベン図も、資料集の図も、図鑑に掲載されている一切合切も「好き」の対象です。

明確におぼえているのは、戸田デザイン研究室・戸田やすし氏の名作『こっきのえほん』。夢中になってめくっては国旗をおぼえ、改訂とともに国名や国旗の変遷を見届け…いまは、周囲の小さなお友達に『こっきのえほん』を贈る喜びも知りました。

図が好きなのには少しネガティブなきっかけもあります。たぶん幼稚園児だった頃、おひさまの絵を描いて、色選びが「おかしい」と大人から指摘されたこと。子どもながらに「二度と絵なんか描くもんか」と感じたものです。不登園児にもなりました。そのせいか、描き手／書き手が「伝えよう」と必死に表した図に興味がわき、「これは面白い」という直観があったような気がしております。

チハルさんが絵やデザインで表現しはじめたのはいつ頃ですか？創作活動の原点を探ってみたい気がします。ぜひ、お聞かせくださいね。



From Manami

しつもん
コーナー

チハルさんからの質問の答え Q 好きな色はありますか？

A. 私もブルーが好きですね。ラピスラズリのような深めの青。その補色より赤めのブラッドオレンジ色（LOVEMEオレンジ）も好きです。

チハルさんへの質問

Q. お好きなアニメ・漫画を教えてください。私は『銀魂』。キャラ人気投票で平賀源外があんな順位だったことには、遺憾の意を表したい！